

跡見学園女子大学 学報



新座キャンパス

2026(令和8)年3月16日(月)文京シビックホールにて、第58回学部卒業式・第20回大学院修了式を挙行了しました。学び舎をあとにした卒業生・修了生の皆さんは、これからの生活への期待を胸に、新しい日々へと羽ばたいていきました。また、4月3日(金)には第62回入学式を挙行了しました。晴れ渡る春空のもと、新入生の希望に満ちた笑顔が印象的な一日となりました。本学での学びや経験を通して、一人ひとりが大きく成長できることを願っています。

4月1日より新学長に森まり子教授が就任しました。1965(昭和40)年の跡見学園女子大学開学以来、初めての女性学長の誕生となります。また、森学長のもと新たな執行部も発足しました。今号では、新学長ならびに役職者のご挨拶を掲載しています。

本学は、時代の変化に適應しながらも、建学以来の伝統を大切に、「自律し自立した女性の育成」を教育理念として掲げ、学生一人ひとりの成長を支援してまいります。今後とも、保護者ならびに関係者の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

記 事 内 容

○学長メッセージ「学生の皆さんへ」	2
○副学長挨拶 ○役職者一覧(2026年4月1日現在)	3
○学部長挨拶	4
○桜まつりを開催しました ○AISAC開設記念シンポジウム「AIとアートの新しい地平へ」を開催	5
○学生会情報 ○紫祭(大学祭)のご案内 ○CLUB NOW	6
○国際交流活動の紹介	7
○地域交流活動の紹介	8~9
○2025(令和7)年度就職活動総括と今後	10
○就職部より【Topics】 ○跡見花蹊記念奨学生表彰及び一紫会大学院奨学生表彰	11
○教職員紹介 ○学生課実施イベント・報告事項	12~13
○2027(令和9)年度入学試験TOPICS ○オープンキャンパスのご案内	14
○科目等履修生のご案内 ○2026(令和8)年度行事予定 ○心理教育相談所講習会のご案内	15
○花蹊記念資料館コレクション ○編集後記 ○公式SNS紹介	16

学長メッセージ

学生の皆さんへ

新入生の皆さん、大学生活には慣れましたか。新座キャンパスの様々な種類の桜が次々と咲き過ぎ、その後は新緑がまぶしく、葉陰が日に日に濃くなってきました。5月から6月にかけては薔薇や雨に濡れた紫陽花が美しいキャンパスです。自然の中で友人と語らい、或いは静かに自分を見つめる時間を持つのも学生時代の思い出になります。皆さんが良いスタートを切った事を願っております。

新生活に慣れると共に、「五月病」と言われる倦怠期を経験する事があります。最初の興奮が過ぎ、ふと疲れを感じたり、朝起きづらくなったり、授業を欠席しがちになったりしていませんか。一旦憂鬱になってしまうと、自分のしている事の意味が分からなくなったり、悪い方へ考えてしまったりする事もあります。このような状態を放置しますと、大学に来づらくなってしまう事もあります。そのような時、カウンセリングを受ける事も有効ですが、自分でどのような対処をすればよいか、一緒に考えてみたいと思います。

新座キャンパスの美しい自然に目を向けてみて下さい。自然は淡々と時を刻んで変化していきます。古来日本人は、光あふれる春にさえ愁いを見、落葉する秋に物悲しさを感じました。しかし海外に行くと、その感じ方は実は日本的なものである事が分かります。米国での研究生活で親しくしていた研究者が、私が「日本では秋の

跡見学園女子大学 学長

森 まり子



紅葉は物悲しいと伝統的に思われてきた」と話すと驚いていました。「私は色づいた葉を見ると嬉しくてピクニックに行きたくなる。カラフルな葉は楽しいではないか。紅葉が何故悲しいのか」と。

つまり、自分が悲しいとか寂しいとか感じている事は実は「主観的」な事であり、他の人から見れば、ましてや自然や宇宙から見れば、何の事はない、淡々とした現象にすぎないのかも知れないのです。見方を変えれば、悲しい事は実は悲しくもなく、単に「そうであった」だけかも知れないのですね。自分が悲観的になっていても、時が来れば花は咲き、散り、そして種になり、他方で蟻はせっせと悲しみも知らないかのように餌集めにいそしんでいます。星は何百、何千光年ものかなたに変わらず輝いています。自分だけが何故うまくいかないのか、と落ち込んでしまった時は、是非周りの広い世界や自然に目を向けてみて下さい。自然の摂理は、決してあなたの悩みが「絶対的」で逃れられないものではなく、相対化できる事を教えてくれるはずですよ。

そのような事に気付くきっかけが、私の場合は文学でした。一見役に立たなそうな学問の中に、生きていく事を支える深い真実がある。私はその事を皆さんに伝えたいのです。学長室はいつも開かれています。話したくなったら是非訪れて下さい。心からの笑顔でお待ちしています。(私の専門は中東近現代史・政治思想史です。)



令和8年度入学式の様子

副学長挨拶

「この大学に来てよかった」
を原点に

副学長 山澤 成康

このたび副学長を拝命しました山澤です。経済統計や経済予測を研究分野とし、『ディズニーで学ぶ経済学』を著すなど、経済学を楽しく学んでもらう授業にも取り組んできました。どうぞよろしくお願いいたします。

もともと日本経済新聞社に勤めておりましたが、2002（平成14）年4月、マネジメント学部の創設にあわせて跡見学園女子大学に着任いたしました。当時は1年生から4年生まで新座キャンパスで学び、教員1年目の「日本経済論」の受講生はたった6人でした。少人数ゆえに学生一人ひとりと向き合えたことが、今思えば本学らしさの原点だったように思います。それから四半世紀近く、その良さは変わっていないと感じます。

昔から変わらない喜びは、卒業式や謝恩会で、学生から感謝の言葉をもらえることです。「この大学に来てよかった」「ゼミで学んでよかった」「良い友達ができた」——そんな一言は、日頃の苦勞を吹き飛ばしてくれます。副学長として立場は変わりますが、目標は同じです。一人でも多くの卒業生に「この大学に来てよかった」と言ってもらえるよう、必要な施策を迅速に進めてまいります。2029（令和11）年度には文京キャンパスへの一元化も実現し、本学は新しい姿へと歩み出します。微力ながら力を尽くしますので、今後ともお力添えをよろしくお願いいたします。

副学長挨拶

魅力の発信と
学びの充実に向けて

副学長 西田 晴美

このたび副学長に就任いたしました西田晴美と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。私は英語教育を専門としており、日々、学生の英語学修に携わることに大きな喜びを感じております。授業のなかで学生が生き生きとコミュニケーション活動に取り組む姿や、学期の終わりに話す力の伸びが感じられる瞬間は、教員として何よりの喜びです。

今年度からは副学長という役割をいただき、新たな使命を担うことになりました。大きく二つあります。一つは、本学の魅力を高め、広く発信していくことです。本学は、学生一人ひとりに寄り添い、その可能性を丁寧に伸ばす教育に確かな強みを持っております。この強みをいっそう磨いて広く発信してまいります。

いま一つは、在学生の学びと成長を支えることです。ディプロマ・ポリシーに基づくカリキュラムには、どのような力を身につけて卒業してほしいかという本学の理念が凝縮されています。学生には、4年間で幅広い知識と多様な経験を得て、自ら考え、積極的に行動し、自分の人生を切り開く力を携えて社会へ羽ばたいてほしいと願っております。そのための環境づくりに、全力を傾けてまいります。

今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

役職者
一覧
(2026年4月1日現在)

●学長	森 まり子	●情報メディアセンター長	中村 仁
●副学長	山澤 成康	●心理教育相談所長	酒井 佳永
●副学長	西田 晴美	●地域交流センター長	土居 洋平
●文学部長・人文科学研究科長	松井慎一郎	●情報科学芸術センター長	池上 高志
●マネジメント学部長・マネジメント研究科長	安藤 生大	●事務局長	大坂 晴美
●観光コミュニティ学部長	佐野美智子	●教務部長	新井 雅
●心理学部長	板東 充彦	●学生サポートセンター長	石崎 裕子
●全学共通科目運営センター長	赤松 瑞枝	●就職部長	高橋 聖子
●図書館長	加美 甲多	●入試部長	石川 昌宏
●花蹊記念資料館長	栗田 秀法		

文学部長挨拶

文学部長としての抱負



文学部長 松井 慎一郎

4月より文学部長を務めさせていただいております人文科学部の松井です。どうぞよろしくお願いいたします。私は日本近現代史を専門としていますが、1875（明治8）年創立以来、本学が歩んできた長い道のりは、歴史的にも大きな意義を持つものであると考えます。

跡見女学校理事で近代日本を代表する自由主義政治家であった島田三郎は、本学が繁栄した要因について、「母校に事あれば門生来り楽みて之を助け、校友も生徒も其年齢を忘れ、長幼相混じて校事を分担す、其状各自の家事を執るが如しといふ」と述べています。島田の妻も女学校の出身者でその縁により理事に就任、そのほか、女学校出身の妻を持つ増田義一、原富太郎（三溪）、志賀重昂をはじめとする近代日本の錚々たる人物たちが理事や教員として発展を支えてきました。

母校愛に満ち溢れた学生を育てる、すなわち在学が本学の教育に充足感を大いに持てるようにすることこそ、今、強く求められているのではないかと思います。《真の学生ファースト》を掲げて新生跡見学園女子大学の創出にご尽力されている森まり子学長をはじめとする教職員の方々と共に前進してまいります所存です。

観光コミュニティ学部長挨拶

観光と地域の未来を見据えて



観光コミュニティ学部長 佐野 美智子

観光コミュニティ学部は、観光デザイン学科とまちづくり学科の二学科体制のもと、「観光」と「地域」のつながりを重視した教育・研究に取り組んできました。しかし、この数年の間に大学を取り巻く環境は大きく変化し、少子化の進行や進学ニーズの多様化などを背景として、本学部も大きな転換期を迎えています。

2026（令和8）年度からは、まちづくり学科の学生募集を停止し、観光デザイン学科を中心とした新たな歩みを進めることとなりました。これまで両学科が培ってきた教育の成果や地域とのつながりを大切に受け継ぎながら、これからの時代に求められる観光人材の育成に取り組んでまいります。

近年、観光は単なる旅行産業にとどまらず、地域活性化や持続可能な社会づくりに深く関わる分野として注目されています。地域の魅力を発見し、多様な人々をつなぎ、新たな価値を創造する力がこれまで以上に求められています。本学部では、実践的な学びを通じて、こうした課題に主体的に取り組むことのできる人材の育成を目指しています。

変化の時代だからこそ、観光と地域を結び付けて考える本学部の学びの意義は、ますます大きくなっています。学生一人ひとりが地域や社会との関わりの中で成長し、新たな未来を切り拓いていくことを期待しています。

マネジメント学部長挨拶

マネジメント学部長としての抱負



マネジメント学部長 安藤 生大

本年4月よりマネジメント学部長を務めることになりました安藤です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

マネジメント学部は、現代社会における新しいマネジメントの知識や技能を身につけ、組織や事業運営の基幹分野で適切な意思決定ができる人材の育成を教育目標としています。また、企業、公共、文化など幅広い分野において、現代社会の課題を自ら発見し、その解決策を提案できる力を養うことをディプロマポリシーとしています。

私は、こうした学部の教育目標とディプロマポリシーの実現を目指し、カリキュラムや学修環境のさらなる充実に努めてまいります。特に、学部運営においては、時代の変化に対応した仕組みやプロセスづくりを進めてまいります。そして、創立60年を迎えた跡見学園女子大学が、これからも社会に必要とされる持続可能な女子大学として歩み続けられるよう、教育・研究環境の充実と学生支援に力を尽くしてまいります。

学生の皆さんが幅広い教養と実践的な専門知識を身につけ、社会で活躍できる力を育めるよう、マネジメント学部の教員各位と協力して、努力していく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

心理学部長挨拶

臨床心理学による社会貢献の促進



心理学部長 板東 充彦

人が関わる場所全てに心理学があります。全ての人は心を持ち、身の回りの環境から絶えず刺激を受け、心がそれに反応するからです。「心理学部臨床心理学科」は分かりやすい名称で、心のからくりに関する学問的蓄積（心理学）をもとに、人を理解し支援する実践技術（臨床心理学）を学びます。心理学部の専任教員は全員が有資格者で、豊富な実践経験をもっています。心理専門職にとって重要なセルフケア、及び他者を支援する技術は、学生の皆さんにとっても重要な学びとなり、一生の宝となります。

私の専門は「コミュニティ心理学」で、個人カウンセリングに限らず、社会における臨床心理学の貢献を考え、実践・教育・研究を行っています。ひきこもりの地域支援に長年取り組み、現在は国際交流を通して戦争と平和の問題に取り組んでいます。心理学は決して万能ではありませんが、常に有効です。

献身的な教員及び職員たちと共に、真摯に自身及び社会の課題に取り組む学生たちと議論しながら、教育に取り組んでいます。少子化の時代にあっても大学も変革を迫られていますが、関係者の皆様ともお話す機会をもち、心理学教育の質をさらに高めるべく邁進する所存です。

桜まつりを開催しました



2026（令和8）年3月28日（土）新座キャンパスにて「桜まつり2026」を開催しました。当日は晴れ渡る青空のもと、約300名の方が来校され、桜を楽しめました。

初めて桜まつりに来場された方々が多く、「とても良かった」「楽しかった」など、満足のお声を多数頂戴しました。今回の桜まつりでは、短歌募集企画やブチ観桜会などの新しい企画を取り入れました。「樹木匠とめぐる、構内サクラ ブチ観桜会」では、アトミザクラをはじめ校内に咲く数種の桜の説明を樹木匠の田中秀明氏に行っていただきました。大変好評で、約80名の方が参加された回もありました。「跡見の桜を観て歌を詠もう」とした短歌募集企画では、桜を詠んだ歌を多数頂戴しました。どれも春を感じられる短歌となっています。ご応募いただいた短歌については、10月に開催する紫祭でご披露する予定です。紫祭は、大学関係者に関わらず一般の方もご来場いただけますので、ぜひ、ご来場ください。



ブチ観桜会の様子

本学では新品種の桜、アトミザクラを様々な場所に植樹しています。2025（令和7）年度は福島県にある須賀川牡丹園や、学生寮メゾン音羽での植樹を行いました。須賀川牡丹園からはアトミザクラを寄贈したことへの謝意として2026（令和8）年4月に牡丹が寄贈されました。赤色の「芳紀」と淡いピンク色の「明皇の宝」というかわいらしい牡丹で、文京キャンパス西門前に植樹されています。アトミザクラをきっかけに、交流の輪が広がっています。



福島県須賀川市より寄贈された牡丹

AISAC開設記念シンポジウム「AIとアートの新しい地平へ」を開催



2026（令和8）年4月24日（金）、本学文京キャンパスにおいて、情報科学芸術センター（AISAC）開設記念シンポジウム「AIとアートの新しい地平へ」を開催しました。

AISACは、情報科学とアートの融合を通して、人間・AI・生命の関係を新たな視点から探究する研究・教育拠点として、今年度4月に開設しました。本シンポジウムは、その理念と活動の方向性を学内外に広く発信する場として開催されたものです。Atomi Blossom Hallでの対面開催とYouTubeによるライブ配信を組み合わせたハイブリッド形式で実施し、シンポジウムには160名（会場102名、オンライン58名）、交流会には55名の参加がありました。

AISACセンター長・池上高志教授による基調講演「AI時代の『問い』をつくる—誰もが科学者でありアーティストである未来へ—」のほか、アーティストで山梨県立大学教授の長谷川愛氏によるゲストレクチャー、AISAC教員によるショートトークを行いました。登壇者によるパネルディスカッションでは、「AIの時代に、アートを学ぶとはどういうことか」をテーマに、多様な視点から活発な議論が交わされ、会場・オンラインの双方から高い関心が寄せられました。

シンポジウム終了後の交流会では、登壇者と参加者、参加者同士による意見交換が活発に行われました。参加者からは、「内容は難しかったものの、新たな可能性に触れることができた」「AIとアートの未来にワクワクした」といった声が寄せられたほか、中高生向け講座や地域との連携など、AISACの今後の展開に期待する声も聞かれました。

AI技術が急速に進展する今だからこそ、本学はAISACを通じて、情報科学と芸術の双方の視点から、未来の社会や人間のあり方を問い直す新たな学びと創造の場を築いてまいります。こうした挑戦の中で、多様な知が出会い、新たな価値が生まれていくことを期待しています。今後もAISACの取り組みにご関心をお寄せいただけますと幸いです。



学生会情報

学生会本部 会長 大川 こころさん



ごきげんよう。空の青さが夏らしく輝きを増してまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

この度、2026(令和8)年度学生会本部会長に就任しました、心理学部臨床心理学科3年の大川こころです。1年間どうぞよろしくお願い致します。

学生会本部では、2026(令和8)年4月8日に新入生歓迎会を行いました。昨年度に引き続き午前・午後の二部制で実施し、多くの新入生に参加いただきました。当日は天候に恵まれ、学内の桜も美しく咲き、春らしい温かな雰囲気の中で開催することができました。新入生歓迎会では、各団体による活動内容の紹介や、パフォーマンス披露も行われました。またグリーンホールでは個別相談会を実施し、活動内容の説明だけでなく、履修登録に関する相談も受けました。

さらに、今年度は新入生歓迎会後に交流会を開催しました。軽食を囲みながらレクリエーションを行い、各団体に所属する先輩たちがテーブルを回って履修や学生生活についての質問に答える機会を設けました。広い学生食堂が埋まるほど多くの方にご参加いただき、新入生同士だけでなく、先輩たちとの交流を深める場となりました。

学生会本部では、今後も学生の皆さんに楽しんでもらえるよう、様々なイベントを企画していきます。秋頃に「テーブルマナー

講習会」の開催を予定しています。美味しい料理を楽しみながらテーブルマナーを学べる機会となっていますのでぜひご参加ください。

また、冬には恒例の「クリスマス会」や「新年会」を予定しています。皆さんに楽しんでいただけるよう、学生会本部一同精一杯準備を進めていますので、どうぞご期待ください。

さらに2026(令和8)年10月24日(土)・10月25日(日)には大学祭である「紫祭」が開催されます。例年、新座キャンパスで開催していましたが、今年度は文京キャンパスで開催します。模擬店の出店をはじめ、様々な企画を準備していますのでぜひお越しください。

学生会本部では、これからも学生の皆様さんが充実した学生生活を送ることができるよう努めていきます。今後とも学生会本部をどうぞよろしくお願い致します。



ゆかりさい

紫祭(大学祭)のご案内

ごきげんよう。紫祭実行委員会です。

昨年度の紫祭は「桜霞〜光輝く時を〜」をテーマに開催しました。多くの皆様にご来場いただき、ご支援とご協力をいただいたおかげで、第58回紫祭を大成功のうちに終えることができました。誠にありがとうございました。

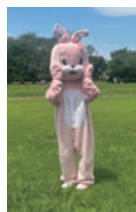
さて、今年度開催する第59回紫祭のテーマは「桜花爛漫〜夢めぐる春夜に〜」に決定しました。「桜花爛漫」には、跡見学園女子大学で長年親しまれてきた桜の伝統を受け継ぎ、その桜のように来場者の皆様はもちろん、私たち実行委員会一人ひとりも輝き、笑顔あふれる大学祭にしたいという思いを込めています。また、「夢めぐる春夜に」には、「魔法」や「冒険」の世界観を取り入れ、女子大学ならではの華やかさや美しさ、かわいらしさを表現しました。「春夜」は、始まりや成長の意味を込めて「春」、夜桜のように表舞台に立つ人たちを支える「縁の下力持ち」でありたいという紫祭実行委員会の誇りと強い意志を込めて「夜」、この二つを合わせて「春夜」になりました。そして、お越しいただく皆様に特別な体験をお届けしたいという願いも込めています。

紫祭実行委員会 委員長 野村 万葉さん



さらに、今年度は紫祭として初めて文京キャンパスで開催する記念すべき年です。新たな環境での開催となりますが、これまで受け継がれてきた伝統を大切にしながら、新しい魅力を創り出し、多くの方の記憶に残る紫祭を目指します。昨年よりさらに充実した内容で、さまざまな企画をご用意していますので、ぜひお越しください。

紫祭実行委員会をはじめ、参加団体一同、精一杯準備を進めています。今後とも変わらぬご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します。



CLUB Now

ダンス部 A☆fig

ごきげんよう、ダンス部A☆figです。

私たちは、年に1回の紫祭での発表に向けて、日々楽しく練習に取り組んでいます。週に2回(月・木)、主に新座キャンパスの体育館で活動しています。

ジャンルはジャズやK-POP、J-POPのカバーダンスなど幅広く、学年ごとにやりたい曲を話し合いながら、1つの作品を作り上げています。また、外部からコーチをお招きし、本格的なレッスンを受ける機会もあり、楽しみながらしっかり成長できる環境が整っています。

活動は、曲決めから始まり、振り付けや構成まで、考えながら進めていきます。振り付けや構成は上級生が中心となって考えますが、みんなで見えを出し合いながら、一体感を大切に、作品を完成させていきます。完成した作品を紫祭などのイベントで披露したときの達成感は、このサークルな

前部長 西尾 彩花さん



らではの魅力です！

大学からダンスを始めた未経験の部員も多く、基礎から丁寧にゆっくりと練習を進めるため、どなたでも安心して参加できます。学年関係なく仲が良く、和気あいあいとした雰囲気の中でお互いに支え合いながら活動しています。

ダンスに興味がある方や少しでも気になった方は、ぜひお気軽にSNSのDM等でご連絡ください。活動の雰囲気や練習内容など、どんなことでもお答えします！

Instagram: @afig_2026
X: @afig_2026



国際交流活動の紹介

2025(令和7)年度 春期海外研修終了報告

2026(令和8)年2～3月に、アメリカと台湾で春期海外研修を実施しました。計9名の学生が3～4週間の充実した時間を過ごしました。語学学習や文化に触れるだけではなく、現地の学生やホストファミリー、他国の学生、地域の方々との交流など、海外研修ならではの体験を通じて成長することができました。

アメリカ ローワーコロンビアカレッジ

研修日程 2026(令和8)年2月14日(土)～3月10日(火)
参加学生 8名
引率 守屋邦彦准教授



バスケのコートで記念撮影！

台湾 国立台湾師範大学

研修日程 2026(令和8)年2月22日(日)～3月14日(土)
参加学生 1名



終業式後にクラスメートと！

2025(令和7)年度 春期海外研修成果報告会

2026(令和8)年4月8日(水)に新座キャンパスにて成果報告会を実施しました。

学生たちは、異なる文化や価値観に触れ、時には言葉や文化の違いに戸惑いながらも、異国の「今」を目に焼き付けてきました。素晴らしい成果発表に大きな拍手が送られていました。



英会話サロン・韓国語サロンのご案内

誰でも気軽に英会話や韓国語会話を楽しめる場として、「英会話サロン」「韓国語サロン」を開室しています。英語も韓国語も話せないという方も大丈夫！気軽に参加することができます。いずれのサロンも無料です！

★英会話サロン★

- ・ネイティブの講師と自由に会話ができます
- ・対面レッスンを週2回各キャンパスで実施
- ・オンラインレッスンは週3回実施！
- ・入退室自由、ランチをしながら気軽にレッスン！



★韓国語サロン★

- ・日韓バイリンガルの講師によるわかりやすいレッスン
- ・週1回、各キャンパス交互に実施（対面とオンライン）
- ・ランチやお菓子を食べながら参加OK、入退室自由

地域交流活動の紹介

刊行物のお知らせ

地域交流センター年次報告書7 ゆかり



地域交流センターでは、このたび2025（令和7）年度の活動をまとめた『跡見学園女子大学地域交流センター年次報告書 ゆかり』第7号を刊行しました。今号で7回目の刊行となります。

本報告書では、本学の地域交流活動全体の状況、ゼミや教員、地域交流センターからの呼びかけで集まった学生からなる団体等が行っている地域交流イベントや地域交流活動の様子、ボランティア活動、各種講座の実施状況など、1年間の取り組みを振り返り、紹介しています。また、企画に参加した方々の声やアンケート結果をもとにした改善点、今後の課題と展望についても記載しています。

地域の皆さまのご協力により、多くの交流と学びの場が生まれた一年となりました。本学地域交流センターでは、これからも自治体・企業・地域住民の皆さまと連携し、地域活性化や地域課題の解決に向けた取り組みを推進していきます。

報告書はホームページからPDF形式で閲覧・ダウンロードが可能です。ぜひご覧いただき、今後の活動にもご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



(データ版はこちら)

地域交流センターブックレット Vol.6 文化遺産がつなぐ過去と未来



本学では、地域交流センター主催による跡見学園創立150周年記念シンポジウム『文化遺産がつなぐ過去と未来—跡見女学校 明治・大正・昭和の暮らし』を2025（令和7）年9月28日（日）に文京キャンパスにて開催しました。当日は、地域住民や研究者、学生、本学教職員など約180名が参加し、学園の歴史や文化遺産について理解を深めました。また、2025（令和7）年9月24日（水）から30日（火）まで、関連展示も開催し、文京区柳町遺跡から出土した遺物などを展示しました。会期中は延べ298名が来場し、多くの方々にご覧いただきました。

本シンポジウムは、跡見女学校旧柳町校舎に関連する遺構・遺物が発掘調査で多数確認されたことを契機に、その成果を広く共有し、学園の歴史を未来へ継承することを目的として企画されたものです。当日は、考古学や文献史学、学生による活動報告など、多角的な視点から発表が行われ、遺跡、文献、生活資料といった多様な「文化遺産」が過去を語るだけでなく、未来へとその価値を継承し、活用していくための重要な鍵であることが示されました。

当日の様子を記録したブックレットを刊行しましたので、ぜひご覧ください。本学ホームページから、PDF版もご覧いただけます。



(データ版はこちら)

地域交流センター主催「地域交流活動報告会」を初開催しました

2026（令和8）年3月11日（水）、文京キャンパスにて、地域交流センター主催「地域交流活動報告会」を初開催しました。

本報告会は、ゼミや学生団体による地域交流活動の取り組みを共有し合い、新たな発見や交流のきっかけづくりを目的として実施したものです。当日は、各団体によるプレゼンテーションやポスターセッションが行われ、地域と関わる多彩な活動内容が紹介されました。

当日は全8団体が参加し、来場者数は70名を超えるなど盛況な会となりました。参加者からは、「さまざまな地域活動を知る良い機会となった」「他団体の工夫を今後の活動に活かしたい」といった声も寄せられました。

また、発表団体の中から優れた活動を表彰する「地域交流アワード」も実施しました。「学長賞」は安藤ゼミ、「みんなが選ぶ地域交流活動賞」は土居ゼミ・臨床心理学専攻院生＆ふらっと・塩月ゼミが受賞しました。

地域交流センターでは、今後も学生と地域をつなぐ取り組みを推進していきます。



プレゼンテーションの様子



ポスターセッションの様子



学長賞受賞の様子



受賞団体との集合写真

「令和7年度 学生による地域活動報告会 in 文京区」に参加しました

2026（令和8）年3月10日（火）、文京区学生支援担当者連絡会主催「学生による地域活動報告会 in 文京区」が、拓殖大学文京キャンパスにて開催されました。本報告会は、文京区学生支援担当者連絡会（各大学の学生支援担当者および文京区社会福祉協議会のメンバーで構成）が主催となり、文京区に関わりを持つ学生による地域連携・社会貢献活動についての発表を行うものです。発表会を通して、各大学・団体が取り組む地域交流活動を共有することを目的として開催されています。当日は、文京区にキャンパスを置く10大学から16団体が参加し、活動報告が行われました。

本学からは、「マネジメント学部安藤ゼミ」が参加し、雑がみの分別を支援するAIアプリ「ECOPON」を活用した取り組みについて発表を行いました。本活動では、雑がみのリサイクル促進や環境意識の向上を目的として、地域における資源循環や環境問題への関心を高める活動に取り組んでいます。発表では、取り組みの経緯や実際の活用方法、活動を通して得られた学びについて紹介が行われました。

そのほか、地域子どもたちを対象とした居場所づくりや学習支援活動、福祉・防災・地域活性化に関する取り組みなど、多様な分野にわたる活動報告が行われました。

活動報告後には、大学や団体の垣根を越えた交流を目的として、グループワークも実施されました。参加学生たちは、日頃の活動を通じて感じていることや、地域活動に取り組むうえでの課題、今後挑戦してみたいことなどについて意見交換を行い、交流を深めている様子でした。

最後には、参加学生による集合写真の撮影が行われ、報告会は盛況のうちに終了しました。



「マネジメント学部安藤ゼミ」による発表の様子

地域交流センター公式Instagram・Xのお知らせ

地域交流センター公式Instagram・Xでは、地域イベントやボランティア情報、学生の活動の様子などを随時発信しています。ぜひフォローをお願いいたします！



2025(令和7)年度就職活動総括と今後

就職部長 高橋 聖子

< 2025(令和7)年度就職活動の総括 >

本学における2025(令和7)年度の就職実績は、求職率92.0%、就職率98.2%であり、昨年度よりも求職率は0.7ポイント増、就職率は0.5ポイント増と、依然として高水準で推移しております。また、実就職率(就職者数/卒業者数)も90.2%と、90%を越えており、大学院や専門学校進学者の比較的多い学部を考慮しても実就職率は増加しております。売り手市場は今も継続していますが、企業は「総合職」採用にシフトしており、生成AIの普及による業務効率化等により、「事務職」と言われるデスクワークを中心とした職種の採用は引き続き減少傾向となっております。

企業の採用活動は昨年同様早期化が進んでおり、3年生の段階で内定を獲得している学生も増加傾向でした。これは、3年生夏・秋のインターンシップが選考直結型で行われていることが要因であると思われます。3年生夏のインターンシップを見据え選考準備を進める学生は増加傾向にあります。

2025(令和7)年度卒業生の就職実績

単位(人)

学部	学科	卒業者数	求職者数	求職率	就職者数	就職率
	人 文	138	124	89.9%	120	96.8%
	現 代 文 化	144	129	89.6%	125	96.9%
	コミュニケーション文化	59	52	88.1%	51	98.1%
文学部 計		341	305	89.4%	296	97.0%
	マ ネ ジ メ ン ト	142	136	95.8%	135	99.3%
	生活環境マネジメント	72	68	94.4%	68	100.0%
マネジメント学部 計		214	204	95.3%	203	99.5%
	観 光 デ ザ イ ン	103	101	98.1%	101	100.0%
	コミュニティデザイン	19	19	100.0%	19	100.0%
観光コミュニティ学部 計		122	120	98.4%	120	100.0%
	臨 床 心 理	110	95	86.4%	92	96.8%
心理学部 計		110	95	86.4%	92	96.8%
全学部合計		787	724	92.0%	711	98.2%
参考	前年度全学部合計	815	743	91.2%	726	97.7%

①就職率…就職希望者に占める就職者の割合

②求職者…卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者

(就職希望者) なお、「進学」「自営業」「家事手伝い」「資格取得」などを希望する者は含まない

③就職者…正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者

④調査時点は2026(令和8)年5月1日現在

< 2026(令和8)年度就職活動の見通し >

リクルートワークス研究所による大卒求人倍率調査(2026年4月現在)によると、2027(令和9)年3月大学卒業予定者に対する求人倍率は1.62倍(2026年度1.66倍、2025年度1.75倍)と売り手市場を維持していますが、緩やかに減少傾向となっております。また、2027(令和9)年3月卒の企業の新卒採用予定の見通し調査では、前年度よりも増えると回答した企業が11.5%であり昨年度の13.2%からすると、低下傾向となっております。

一方、学生に目を向けると、(株)キャリアスが2027年3月卒業予定の大学4年生を対象に実施した調査(回答数1,013名)によると、6月1日時点の内定率(内定率)は81.2%と、昨年同期(83.7%)とやや下回りました。一方で、就職活動を終了した学生は全体の47.2%で、多くの学生は、就職活動を継続しています。

就職部では、学生一人ひとりの適性に応じたきめ細かい支援を行っています。1年生から4年生までの充実した就職支援プログラムの実施は、対面とオンラインの併用による効率的かつ手厚いサポートを実現しています。

現在も就職活動を継続されている皆さんにおかれましては、焦ることなく、ご自身のペースを大切にしながら取り組んでください。また、不安や悩みを感じた際や、進路選択に迷われた場合には、遠慮なく就職課にご相談ください。応募可能な求人は引き続きありますし、就職課においても多様な求人をご紹介します。ご自身の希望や意向を踏まえ、納得のいくかたちで進路決定に向けた活動を進めていくことが重要です。就職課では、その過程を支えるためのサポートを惜しみません。

そして、1年生から3年生の皆さんは、夏季インターンシップや業界研究を通じて、自身の関心や職務適性を早期に把握することが重要です。

「どのような社会人として成長していきたいか」を考える時間を持つことが、今後の進路選択において有意義な指針となります。自分らしい自己実現と社会貢献の在り方を見据え、主体的に進路探求を進めていくことを期待します。

就職部より【Topics】

Topics 1 “ATOMIインターンシップ”が「第9回学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード」の学生推奨プログラムに、選出されました！



“ATOMIインターンシップ”で就業体験が、学生の社会的・職業的自立に貢献したインターンシップやキャリア形成支援に係る取り組みを表彰する「第9回学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード」(主催:「学生が選ぶ キャリアデザインプログラムアワード」運営事務局/後援:経済産業省、厚生労働省、文部科学省、日本経済新聞社、マイナビ)において、全1,343プログラムの中から、「インターンシップ/仕事体験コース(就業体験型)」における「学生推奨プログラム」に選出されました。



学生推奨プログラムは、一次選考を通過したプログラムを、全国の大学生から構成される審査員約180名が、計4回の選考会において高く評価したプログラムとなります。学生審査員の皆さんから選んで頂けたことは価値があると受け止めています。

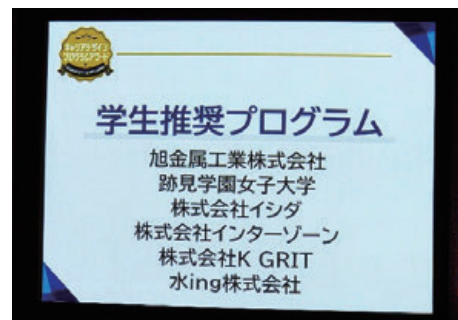
“ATOMIインターンシップ/就業体験”は、3年生以下の学生を対象とし、「就職とは生き方の選択である」という基本理念のもと、学生が自らデザインしたキャリアを実現するための就労体験

として、協力企業様と就職課が共同し実施しています。

高い職業意識を備え、自主的に考え行動できる人材の育成、ならびにキャリアモデルとなる社会人との接触を通じた自己成長への動機づけを主な目的としています。

事前のオリエンテーションでは社会人としての基本的な礼儀作法として、ビジネスマナー研修から始まり、業界理解や自己理解を深めるワークなどを行います。

また、学生は研究グループを組み、グループごとの研究テーマ(企業を見る視点)を設定します。実習先において社員や顧客等と積極的に関わらなければならない環境を意図的に設けることで、学生が自ら一歩踏み出す行動力や、進路選択に必要な多面的な視点を身に付けることが期待できます。3日～10日間程度の実習を行った後には、事後研修とグループ研究の発表、さらに協力企業・団体も招いて成果報告会を開いています。就職課では、早期から具体的にキャリアを考えるきっかけを提供するとともに、思考や行動を含め、柔軟に対応できる学生の育成を目指しています。



Topics 2 [就業体験プログラム(仮)]でオープンバッジを発行！

2026(令和8)年度より、就職課主催プログラム[就業体験プログラム(仮)]について、大学による認定プログラムを設置し、この認定プログラムの修了者には、デジタル証明であるオープンバッジを発行します。

オープンバッジとは、一般財団法人オープンバッジ・ネットワークが発行しているデジタル証明で、在学中のみならず卒業後も学修歴やスキルをインターネット上で、証明することができるシステムです。学内では既に、学修歴を可視化する手段としてオープンバッジが発行されています。

企業と連携した就業体験プログラムへの参加に加え、取得要件(就職希望者対象の就職課主催のプログラムへ一定回数以上の参加)を全て満たした学生に対してオープンバッジを付与します。オープンバッジの発行開始によって、学生は就職活動での活用も可能となり、学生の就職課プログラム参加意欲の向上に繋がるのが期待できます。



跡見花蹊記念奨学生表彰

2026(令和8)年6月12日、19日に学業奨励賞として跡見花蹊記念奨学生39名が表彰されました。奨学生は前年度の学業成績上位者から選考され、表彰状と奨学金(授業料一学期分相当額)が支給されました。

	2年生	3年生	4年生	計
文学部人文科学	2名	1名	2名	5名
文学部現代文化表現学科	3名	2名	3名	8名
文学部コミュニケーション文化学科	該当なし	1名	1名	2名
マネジメント学部マネジメント学科	2名	2名	3名	7名
マネジメント学部生活環境マネジメント学科	該当なし	該当なし	1名	1名
観光コミュニティ学部観光デザイン学科	1名	1名	2名	4名
観光コミュニティ学部まちづくり学科	1名	該当なし	1名(コミュニティデザイン学科)	2名
心理学部臨床心理学	3名	2名	3名	8名
計	12名	9名	16名	37名

大学院2年生 人文科学研究科 日本文化専攻 1名 大学院2年生 人文科学研究科 臨床心理学専攻 1名 計 2名

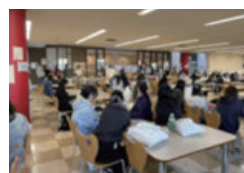
跡見校友会一紫会大学院奨学生表彰

2026(令和8)年6月12日に学業奨励賞として4名の跡見校友会一紫会大学院奨学生が表彰されました。奨学生は前年度の学業成績上位者の中から決定し、表彰状と奨学金(授業料の一学期分の二分の一相当額)が支給されました。

大学院2年生 人文科学研究科 日本文化専攻 1名 大学院2年生 人文科学研究科 臨床心理学専攻 3名 計 4名

学生会・学生課共催イベント 新年会実施報告

2026（令和8）年1月に新座キャンパス・文京キャンパスで新年会を実施しました。学生会本部の学生が中心となり企画・司会進行を行い、食事をしながらレクリエーションを楽しみました。普段の授業で関わる機会が少ない他学部の学生と話す機会ができ、学生同士の新たな交流の場となりました。



2026（令和8）年4月に新座キャンパスで新入生歓迎交流会を実施しました。平成初期に実施していた様ですが、久しぶりに復活したイベントです。学生会本部の学生が中心となり企画・司会進行を行い、新入生の各テーブルに先輩が加わり、場を盛り上げていました。軽食をとりながら、自己紹介ビンゴやフリートークを楽しんでいました。入学後、早い時期に行われたイベントのため、知り合い作り、先輩とのつながりを作るきっかけとなるイベントになりました。

参加した新入生の声／

先輩からのお話が聞けて良かったです。

軽食がおいしかったのと、新しい友達ができ嬉しかったです！

これからの大学生活で分からないことや疑問点があったのですが、先輩方が来てくださり、丁寧に質問に答えてくださったので解決できてよかったです。

2025(令和7)年度 第58期卒業生 卒業生記念品について

2025（令和7）年度第58期卒業生より、卒業生記念品として「パネルスクリーン」を頂戴しました。学生団体等がポスター掲示をする際に使用し、大切に使用させていただきます。



2027（令和9）年度入学試験TOPICS

※日程や詳細は公式ホームページをご確認ください。

！跡見校友女子推薦入学試験のご案内

本入試は、本学在学生の姉妹および学園卒業生＜跡見学園女子大学、跡見学園短期大学（跡見学園女子大学短期大学部）、跡見学園高等学校の卒業生＞の3親等以内の方を対象とした推薦入試です。跡見学園の建学の精神や校風に深いご理解をいただく方々をより多く受け入れることにより、学園の伝統の継承・発展につなげていきたいと考えております。

【対象】

本学在学生の姉妹および学園卒業生の3親等以内の方

【試験日程】

（Ⅰ期）

出願期間：2026年11月1日（日）～11月6日（金）締切日消印有効

試験日：2026年11月15日（日）文京キャンパス

合格発表日：2026年12月1日（火）

（Ⅱ期）

出願期間：2026年11月23日（月）～12月7日（月）締切日消印有効

試験日：2026年12月13日（日）文京キャンパス

合格発表日：2026年12月17日（木）

* 入学金については半額免除いたします。

* 評定平均値については、他の推薦入学試験に比して優遇措置をとっております。

* 出願をご希望の方は、出願資格確認のため、一度入試課までご連絡ください。

！跡見特待生チャレンジ入学試験を実施

「国語」「英語」の基礎力診断テストを受験いただき、合格の方は以下の合格種別により特待が受けられます。

種別	選考基準	特待内容
特待生S合格	2科目合計得点が70%以上の者を対象とし、成績順位上位10名を選考する。	入学年次の授業料 全額免除
特待生A合格	2科目合計得点が70%以上の者で、特待生S合格者に次ぐ者を対象とし、成績順位上位10名を選考する。	入学年次の 入学手続時授業料全額免除 (年間の授業料の半額免除)
一般選抜免除合格	特待生合格にならなかった者を対象とし、一般選抜合格水準に達している者を合格とする。	授業料等の免除なし

※他の入試で既に本学への入学手続を完了している方の受験

本学の「総合型選抜」「学校推薦型選抜」に合格し、入学手続を完了した方も受験できます（本学専願の入試区分で入学手続を完了した方の出願は、入学手続を完了した学科への出願に限定します。）この場合、受験に関しての検定料はかかりません（無料）。

オープンキャンパスのご案内

文京キャンパス

4月26日（日）、 5月24日（日）、
6月21日（日）、 7月19日（日）、
8月 1日（土）、 8月 2日（日）、
8月 9日（日）、 8月22日（土）、
10月24日（土）、10月25日（日）、
11月 7日（土）、11月22日（日）

新座キャンパス

7月12日（日）、 9月13日（日）

大学祭(紫祭)同時開催



本学の正規授業を受けてみませんか? 「科目等履修生のご案内」

本学では、生涯学習、社会人教育推進の観点から「科目等履修生」の制度を設けています。

この制度は、本学の授業科目の一部を学生以外の方が履修して、所定の成績を修めた場合には正規の単位が与えられるもので、本学への出願資格を満たしている方であれば、選考の上本学が定める授業科目の中から希望する科目を選んで授業を受けることができます。

費用は、科目等履修登録料が7,500円/1学期、及び科目等履修料10,000円(卒業生は5,000円/1単位)となっています。

秋学期の募集案内は大学のホームページにて掲載します。詳しくは、教務部教務課へお問い合わせください。

e-mail d-kyomu@mmc.atomi.ac.jp 電話番号 03-3941-7420 (文京キャンパス)

◆ 2026(令和8)年度 行事予定 ◆

7月	9日(木)・10日(金)・18日(土)・20日(月)～22日(水)	授業評価期間
	16日(木)・17日(金)	補講日
	20日(月)	祝日授業実施日
	23日(木)	振替休日(7月20日分)
	24日(金)～30日(木)	春学期定期試験期間
8月	31日(金)	春学期定期試験予備日・追試験日
	1日(土)～5日(水)	成績再評価期間
	1日(土)～31日(月)	夏季休業(集中講義等あり)
	3日(月)～5日(水)	集中講義設定期間(土日除く)
9月	20日～31日(月)	集中講義設定期間(土日除く)
	1日(火)～5日(土)	補講期間
	7日(月)～12日(土)	補講期間
	4日(金)	卒業・進級判定
	7日(月)	卒業発表
	11日(金)	進級発表・成績発表
	14日(月)～16日(水)	秋学期オリエンテーション期間
	16日(水)・17日(木)	秋学期1次履修登録申請期間
	18日(金)	9月期卒業式
	24日(木)・25日(金)	秋学期2次履修登録申請期間
10月	24日(木)	秋学期通常授業開始
	29日(火)・30日(水)	履修登録訂正期間(窓口受付)
	12日(月)	祝日授業実施日
	15日(木)	振替休日(10月12日分)
	22日(木)・23日(金)	紫祭準備日(休講)
	24日(土)・25日(日)	紫祭(休講)
	26日(月)	紫祭後片付け日(休講)

11月	23日(月)	祝日授業実施日
	26日(木)	振替休日(11月23日分)
12月	14日(月)～21日(月)	卒論提出期間
	16日(水)～1月12日(火)	修士論文提出期間
	26日(土)～1月5日(火)	冬季休業
1月	6日(水)	授業再開・月曜授業実施日
	8日(金)	創立記念日(休講)
	15日(金)	大学入学共通テスト準備日(休講)
	16日(土)・17日(日)	大学入学共通テスト実施(休講)
	13日(水)・18日(月)・19日(火)・21日(木)～23日(土)	授業評価期間
2月	20日(水)	補講日
	25日(月)～30日(土)	秋学期定期試験期間
	4日(木)・5日(金)	一般選抜A日程実施
	3日(水)・6日(土)	定期試験予備日・追試験日
	1日(月)・2日(火)・8日(月)～15日(月)	集中講義設定期間
3月	4日(木)・8日(月)～27日(土)	補講期間(集中講義等あり)
	1日(月)～31日(水)	春季休業(26日(金)～31日(水)次年度オリエンテーション)
	2日(火)	卒業・修了判定
	4日(木)	卒業・修了発表
	8日(月)	進級判定
	11日(木)	進級発表
	18日(木)	卒業式

2026年度跡見学園女子大学 心理教育相談所講習会のご案内

*会場 跡見学園女子大学(新座キャンパス)

*受講料 無料

*実施日時: 9月19日(土) 10:50～12:30
「マインドフルネスと穏やかな心」板東充彦教授

*お申し込み方法: 往復はがきかHPにてお申込みください。

★HPは以下をご確認ください。
<https://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/>

★往復はがきの方は以下の①～⑧の事項をご記入ください。
①氏名(フリガナ) ②郵便番号・住所 ③電話・Fax番号 ④性別
⑤年齢 ⑥職業 ⑦ご希望の講座番号・講座名をご記入ください
⑧どちらで本講習をお知りになりましたか?

折り返し、ご案内のはがきをお送りいたします。

※1枚の往復はがきにて複数の講座をお申込みいただけます。

往復はがき宛先

〒352-8501 埼玉県新座市中野1-9-6
跡見学園女子大学心理教育相談所

締め切り

9月5日(土) 必着
※締め切り以降はお電話にてお問い合わせください。

お問い合わせ

跡見学園女子大学心理教育相談所
TEL 048-478-3565
(受付/月～土 9:00～16:00)
※日曜、大学行事に係わる閉所日を除く

花蹊記念資料館コレクション

北川 民次 (1894-1989)

《二人の女の顔》

1965年、リトグラフ (石版画)



《二人の女の顔》は、72歳の北川民次が1966(昭和41)年の第6回東京国際版画ビエンナーレに出品した大判石版画です。名摺師・女屋勘左衛門による9版の刷り重ねで制作され、《グロキシニア》《陶工》と共に出品されました。北川は、後に跡見短大学長を務める久保貞次郎らと子どもの自由な表現を重んじる「創造美育」運動を推進したことで知られていますが、さらに久保が提唱した「小コレクター運動」による版画普及にも深く関与しました。

画面いっぱいに二人の女性の顔が並置され、黒い髪の大きな塊が上部を覆っています。背景は黄褐色の淡い色面にとどめられ、単純化された線と面で構築された顔貌が浮かび上がっています。左の人物は正面と側面を併せ持つ両義的な表情を見せ、右の人物は静かに視線を落としています。口元の描写は最小限に抑えられ、1960年代半ばに見られる造形の簡潔化が見て取れます。背景を排し顔のみを提示する構成は、バストアップ像の多い民次の作例の中でも珍しいものです。

レジェやピカソの影響に加え、1959(昭和34)年中部日本放送会館のモザイク壁画制作の経験も、太い輪郭と大きな面的構成に通じています。メキシコ風の労働者像が多い当時の民次作品の中で、顔の構造自体を主題とした点で異色の作例といえ、古希を越えた画家の密かな実験精神がうかがえます。

(花蹊記念資料館長・栗田秀法)

編集後記

最後までお読みいただきありがとうございました。今号より、紙面からデジタル版へと移行しました。形は変わりますが、これからも皆さまに大学での取り組みや活動の様子をお届けしてまいります。今後ともご愛読いただけると幸いです。

跡見学園女子大学公式SNS紹介

本学公式SNSアカウントでは、ゼミでの取り組みやクラブ・サークル活動などの在学生の様子、各種イベントや入試情報など、本学の取り組みをご紹介します。在学生や保護者の皆様、また、本学に興味のある受験生の方々向けにも、さまざまな情報を発信しています。



Instagram

跡見学園女子大学
Atomi University (atomiuniv)



X

跡見学園女子大学
(@Atomi_univ)



YouTube

【公式】跡見学園女子大学
各学部の紹介PV公開中！



LINE

跡見学園女子大学
受験生向けの最新情報を発信しています。ご興味のある方は、是非、友だち登録をしてみてください。

跡見学園女子大学学報 第111号

発行日 2026(令和8)年7月15日
発行 跡見学園女子大学事務局庶務課
〒112-8687 東京都文京区大塚1丁目5番2号
電話03(3941)7420
URL <https://www.atomi.ac.jp/univ/>